

法政大学講義録

三宅, 徳業 / 松浦, 鎮次郎

(出版者 / Publisher)

法政大学

(巻 / Volume)

28

(号 / Number)

特別法

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

43

(発行年 / Year)

1906-01-18



(明治三十八年九月二十七日第三種郵便物認可
毎月二回十二日二十六日發行)

明治三十九年一月十八日發行

特別法ノ二十八

法政大學講義録

第百貳拾九號

法政大學發行

特別法第二十八號目次

府 縣 制(自一九七至二九九) 法學士 松浦 鎮次 耶

表紙及七目次 四頁

非訟事件手續法(自一八七至二三四) 法學士 三宅 德 業

雜 報

○登記濟通知書ノ保管○設立ノ許可ヲ取消サレタル購會員ノ權利
○日韓協約

正誤 府縣制七八頁一行「所得稅」ヲ刪除ス

090
1903
5-28

府縣稅ノ徵收ニ關シテハ府縣制ハ前已ニ述ヘタル如ク法律ニ規定アルモノヲ除ク外勅令ノ規定ニ依ルコトヲ定メ而シテ之ニ基キタル勅令ノ規定ニ依レハ市町村ハ其市町村内ノ府縣稅ヲ徵收シテ之ヲ府縣ニ納入スルノ義務ヲ負フモノニシテ之ニ對シテハ地租ノ附加稅ヲ除ク外徵收金額百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘキモノトス市町村ニ於テ避クヘカラサル災害ニ依リ既收ノ稅金ヲ失ヒタルトキハ其稅金納入義務ノ免除ヲ府縣知事ニ申請スルコトヲ得府縣知事ニ於テ右ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スルモノトス其決定ニ不服アル市町村ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得右ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴願ヲ提起スルコトヲ得府縣稅ヲ徵收セントスルトキハ府縣知事又ハ其委任ヲ受ケタル官吏、吏員ハ市町村ニ對シ徵稅令書ヲ發シ市町村長ハ徵稅令書ニ依リ徵稅傳令書ヲ調製シテ之ヲ納稅人ニ交付スヘキモノトス又場合ニ依リテハ府縣知事又ハ其委任ヲ受ケタル官吏、吏員ハ直ニ納稅人ニ對シ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得市町村ニ對シテ發スル徵稅令書ハ納稅人ヨリ令書所載ノ稅額ヲ徵收シテ之

府縣制 府縣ノ行政

ヲ府縣ニ納入スヘキコトヲ市町村ニ命スルモノニシテ納税人ニ對シテ發スル徵稅令書ハ其者ニ對シテ税金ノ納付ヲ命スルモノナリ何レニスルモ徵稅令書ハ市町村又ハ納税人ニ對シテ其徵收シ又ハ納付スヘキ稅額ヲ通知スル事實的行政行爲ニ非スシテ徵收又ハ納付ノ義務ヲ確定スル處分タルナリ徵稅令書ニ依リテ確定セル義務ハ市町村ニ在テハ其徵收シタル府縣稅ヲ納税人ニ在テハ自己ノ納付スヘキ税金ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其領收證ヲ得ルコトニ由テ終了ス徵稅令書ハ義務者カ之ヲ受取リタル時ニ於テ初メテ處分タルノ效力ヲ生スルヲ本則トスヘキモノナレトモ納税人ハ時トシテハ其令書ノ受領ヲ拒ミ又ハ其所在不分明ナルカ如キコトアルヲ以テ法ハ特ニ如斯キ場合ニ於テハ徵稅令書ヲ發シタル行政廳ニ於テ其令書ノ要領ヲ公示スルヲ以テ之ヲ交付シタルモノト看做スヘキコトヲ規定セリ市町村ニ於テ徵稅令書ニ基キ納税人ニ對シテ發スル所ノ徵稅傳令書ハ納税人ニ對シテ税金ヲ納付スヘキコトヲ命スルモノニシテ納税人ノ義務ヲ確定スル市町村ノ處分ナリ徵稅傳令書ニ依リテ確定セル義務ハ納税人カ其税金ヲ市町村ノ收入役ニ拂込ミ其領收證ヲ得ルコトニ由リ

テ終了スルモノトス納税人ニ於テ納期ヲ過キ税金ヲ完納セザルトキハ市町村長ハ其滯納ノ税目金額及滯納人ノ住所氏名其他必要ナル事項ヲ記載シテ之ヲ徵稅令書ヲ發シタル官吏吏員ニ報告スヘキモノトス其他納税人ニ於テ徵稅傳令書ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ納税人ノ所在不分明ナルトキ之ヲ發シタル行政廳ニ於テ傳令書ノ要領ヲ公示シ以テ交付ニ代フルハ徵稅令書ニ於ケルト同シ納税人ニ於テ滯納處分強制執行家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル府縣稅ニ限り納期前ト雖モ之ヲ徵收スルコトヲ得法人ノ解散シタルトキ亦同シ府縣稅ノ徵收期ハ府縣知事ニ於テ之ヲ定ムルモノトス尙ホ市制町村制ヲ施行セザル地ニ於ケル府縣稅ノ徵收ニ關シテハ以上述フル所ニ準シ其準シ難キ事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム其他府縣稅徵收ニ關スル細則ハ總テ府縣知事ノ定ムル所ニ依ルモノトス

府縣稅ノ減免若ハ納稅ノ延期ハ特別ノ事情アルモノニ限り府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得

府縣税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニハ當該行政廳ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其營業時間家宅ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得府縣税ノ賦課ヲ受ケタル者其賦課ニ付キ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ノ交付後三箇月以内ニ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得又市町村ニ於テ府縣費ノ分賦ヲ受ケタル場合ニ於テ其分賦ニ關シ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其告知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得右ノ異議ハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘク其決定ヲ違法トスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得右ノ決定ニ對シテハ府縣知事郡島ノ官吏吏員市町村吏員ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得尙ホ使用料及手數料ノ徵收ニ關シテ異議アル場合モ右ト同一ノ手續ニ依ルモノトス府縣税ノ使用料手數料夫役現品ニ代フル金錢過料其他總テ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ強制徵收スルモノトス尙ホ此徵收金ハ國ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル右ノ場合ニ於テ郡島ノ官吏吏員市町村吏員ニ於テ行フ所ノ

處分ヲ違法トスル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其裁決ヲ違法トスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得又府縣知事ノ處分ヲ違法トスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得右府縣參事會ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡島ノ官吏吏員市町村吏員ヨリモ亦行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得尙ホ滯納處分ハ其效力ノ確定スル迄ハ執行ヲ停止スルモノトス

府縣外ニ於テ府縣税使用料手數料夫役現品ニ代フル金錢過料其他府縣ノ公法上ノ收入ノ滯納處分ヲ爲スノ必要アルトキハ府縣知事ハ其處分ヲ爲スヘキ地ノ府縣知事ニ之ヲ囑託スルコトヲ得囑託ヲ受ケタル府縣知事ハ右ノ處分ノ執行ニ關シ其事務ヲ郡島ノ官吏吏員又ハ市町村吏員ニ補助執行セシメ若ハ委任スルコトヲ得又府縣吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得右ノ場合ニ於テ其處分ニ對シ訴願訴訟ヲ提起スルヲ得ルコトハ前述ヘタル所ト異ナルコトナシ

第四 府縣債

府縣ニ於テハ或事業ノ爲メ一時ニ多額ノ費用ヲ要シ府縣税等ヲ以テ之ヲ支辨スルコト能ハス而モ其事業ノ性質タルヤ府縣團體ニ永遠ニ利益ヲ殘スモノニ

シテ其費用ノ負擔ハ當時ノ府縣人民ノミナラス將來ノ府縣人民ヲシテ之ヲ爲
サシムルヲ至當トスルコトアリ或ハ天災地變等ノ爲メ多額ノ費用ヲ要スルコ
トアリ如斯キ場合ニ於テハ府縣ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣債ヲ起スコトヲ得
法カ府縣債ヲ起シ得ル場合トシテ規定セルモノ左ノ如シ

一、舊債ヲ償還スル爲メ必要アルトキ

二、府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲メ必要ナルトキ

三、天災地變ノ爲メ必要アルトキ

舊債償還ノ爲メ必要ナルトキトハ低利ノ負債ヲ起シテ高利ノ負債ヲ償還セ
トスルカ如キ場合ヲ謂フ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出トハ或ハ道路ノ改
修ナルコトアルヘク或ハ學校ノ建築ナルコトアルヘク各場合ニ於テ之ヲ見ル
ノ外ナシ

府縣債ヲ起スニ付キ府縣會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率
及償還ノ方法ニ付キ議決ヲ經ヘキモノトス

右ノ外府縣ニ於テハ定額豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲メ必要ナル場合ニ於テ一時

借入金ヲ爲スコトヲ得此レハ年度内ニ收入セラルヘキモノカ或時期ニ於テ未

タ收納セラレサルカ爲メ支出ヲ爲ス能ハサルノ不便ヲ避ケントスル一時ノ融

通方法ニ過キスシテ追テ年度内ノ收入ヲ以テ償還ヲ了スヘキモノナルカ故ニ

公債ニ關スル例ニ依ラス府縣參事會ノ議決ヲ經テ借入ヲ爲スコトヲ得

第五、補助及寄附

府縣ハ國家ヨリ補助ヲ受ケ又郡市町村其他ノ公共團體及私人ヨリ寄附ヲ受タ
ルコトアリ國家ノ補助ニシテ法ノ規定ニ依ルモノハ例ヘハ府縣ヲシテ罹災救
助基金、教育基金、市町村立小學校加俸資金ヲ作ラシメ其基金資金ニ充ツルカ爲
ニ一定ノ金額ヲ下付スルカ如キ警察費土木費衛生費及實業學校農事試驗場等
ノ費用ニ對シテ補助スルカ如キ是ナリ

第六、雜收入

不用物品賣拂代ノ如キ其他種種雜多ノ收入ハ此中ニ入ルモノナリ

以上述フルカ如キ府縣ノ收入支出ハ皆豫算ニ依ラサルヘカラス府縣知事ハ每
會計年度歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前府縣會ノ議決ヲ經サルヘカラス府縣

ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ト同シク四月ヨリ翌年三月ニ亘ルモノナリ豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ府縣ノ財産表ヲ提出スヘキモノトス府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加ヲ爲シ若ハ更正ヲ爲スコトヲ得追加トハ或ハ項目ヲ増加シ且金額ヲ増加スルコトアリ或ハ項目ヲ増サスシテ金額ノミ増加スルコトアルモ要スルニ豫算全體ノ金額ヲ増加スルモノヲ謂ヒ更正トハ豫算全體ノ金額ヲ増加スルコトナクシテ内部ノ項目ニ増減ヲ爲スモノヲ謂フナリ又府縣費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ經テ其年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得繼續費トシテ一タヒ議決ヲ經タル後ニ於テハ其各年度ノ支出額ハ既定額トナリタルモノナルカ故ニ收支對照ノ爲ニ各年度ノ豫算中ニハ勿論掲載セラルヘキモ府縣會ハ之ヲ廢除削減スルコトヲ得サルナリ豫算中ニハ豫備費ヲ設クルコトヲ要ス豫備費ヲ置クノ目的ハ豫算ニ豫想セサル支出及豫算ノ金額ニ超過セル支出ヲ爲ス必要アル場合ニ應スルカ爲ナリ然レトモ最初其年度ノ豫算中ニ編入セラレ府縣會ニ於

△
 テ之ヲ否決シタル費途ノ爲ニ豫算外支出ノ名義ヲ以テ豫備費ヲ使用スルハ法ノ禁スル所タリ畢竟如斯キハ府縣會ノ議決ヲ無視スルニ等シキ結果トナルモノナレハナリ豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ內務大臣ニ報告シ並ニ其要領ヲ告示スルヲ要ス府縣知事ハ又府縣會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得府縣歲入出豫算ハ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スルヲ要シ各款ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ許サス各項ノ金額ハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得レトモ警察費中ノ機密費ハ此限ニ在ラサルモノトス各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得ス各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歲入ニ編入スヘキモノトス繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終迄追次繰越使用スルコトヲ得特別會計ニ屬スル歲入歲出ハ別ニ其豫算ヲ調製スヘキモノトス府縣ノ收入支出ニシテ命令ヲ發スルノ必要アルモノハ府縣知事又ハ其委任ヲ受ケタル官吏吏員其他ノ職員ニ於テ之ヲ發スルモノトス毎年度歲入歲出金ヲ出納スルハ翌年度七月三十一日限リトシ府縣ノ出納ニ關スル事務ハ年度經過後五箇月以

内ニ完整スヘキモノトス豫算ハ會計年度經過後ニ於テハ最早更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス會計年度經過後ニ至リ歳入ニ不足ヲ生シ歳出ニ充ツルニ足ラサルトキハ翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得
決算ハ豫算ヲ府縣會ニ付議シタル年ノ翌翌年ノ通常會ニ於テ之ヲ府縣會ニ報告スルヲ要ス決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付セサルヘカラス府縣知事ハ決算ヲ府縣會ニ報告スル前府縣會ノ審查ニ付スヘク若府縣知事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘキモノトス決算モ亦之ヲ内務大臣ニ報告シ並ニ其要領ヲ告示スルヲ要ス

現金ノ出納及保管ノコトニ關シテハ府縣出納吏ノ保管ニ屬スル現金及帳簿ハ府縣知事ニ於テ検査員ヲ命ジ少クトモ毎年一回之ヲ検査セシムルヲ要シ又府縣出納吏解職セラレタルトキハ府縣知事ハ検査員ヲシテ現金及帳簿ヲ検査セシムルヲ要ス又府縣ニ屬スル現金ノ出納及保管ノ爲メ府縣金庫ヲ置クモノトス府縣金庫ニハ府縣本金庫及府縣支金庫アリ府縣本金庫ハ府縣廳所在地ニ之

ヲ置キ府縣支金庫ハ府縣知事ニ於テ必要ト認ムル地ニ之ヲ置キ府縣本金庫ハ府縣支金庫ヲ總轄スルモノトス(現金ノ出納保管ハ府縣金庫ニ於テ之ヲ爲スヲ本則トスレトモ前渡金又ハ滯納處分ニ由リ領收スル現金等府縣出納吏ニ於テ直接出納保管ヲ爲スコトアルヲ知ラサルヘカラス)金庫事務ヲ取扱ハシムヘキ銀行ハ府縣知事之ヲ定ム金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金出納保管ニ付キ責任ヲ有シ自己ノ過失ニ依リ府縣ニ損害ヲ與ヘタルトキニハ之ヲ賠償セサルヘカラス而シテ又府縣知事ノ許可ヲ得タルトキハ自己ノ責任ヲ以テ他ノ銀行又ハ其他ノ者ヲシテ金庫事務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ又擔保ヲ府縣知事ニ提出スルヲ要シ其擔保ノコトニ關シテハ内務大臣ノ認可ヲ經府縣知事ニ於テ之ヲ定ムルモノトス府縣知事ハ府縣金庫ヲ監督シ検査員ヲシテ定期及臨時ニ現金帳簿ヲ検査セシメ又必要ト認ムルトキハ臨機ノ處分ヲ爲スコトヲ得

次に以上述べ來レルカ如キ府縣ノ行政ニ關シ府縣ノ意思ヲ外部ニ發表スル形式ニ付テ言ヘハ或ハ人ノ權利事務ニ關シ多數ノ場合ニ通スル通則即チ法規ヲ

要スルコトアリ或ハ單ニ人ヲシテ事實ヲ知ラシムルニ過キサル告示ニテ足ルコトアリ告示ノコトハ別ニ廣ク之ヲ論スル必要ナク府縣ニ於テ自由ニ之ヲ爲シ得ルハ明ナリト雖モ法規ニ至テハ少シク之ト異ナリ本來人民ノ權利義務ニ關シ人民ヲ拘束スル規則ナルカ故ニ法ニ何等ノ規定ナクシテ府縣カ當然如斯キ法規ヲ定ムルノ權能ヲ有スルモノナリトイフコトヲ得ス而シテ府縣制ニ於テハ此事ニ關スル明ナル規定ナキカ故ニ或ハ府縣ニ於テ法規ヲ定ムルコト能ハサルヤノ疑ヲ抱ク者ナキニ非スト雖モ吾人ノ見ル所ヲ以テスレハ府縣制第八十八條ハ府縣ノ定ムル法規ニ付テ規定シタルモノニ外ナラサルカ如シ勿論法規ノコトノミヲ規定セルニハ非サレトモ同條ハ官吏ノ府縣行政ニ關スル職務關係ハ府縣制中規定アルモノヲ除ク外國ノ行政ニ關スル官吏ノ職務關係ノ例ニ依ルコトヲ規定セリ故ニ府縣知事カ地方官官制ニ依リ國ノ行政タル地方行政ニ關シ府縣令ヲ發シ得ル關係ハ府縣知事カ府縣團體ノ自治行政ヲ行フ場合ニモ存在シ府縣令ヲ以テ自治行政ニ關スル法規ヲ定ムルコトヲ得ルナリ各府縣ニ於テ府縣稅賦課ノ規則ヲ府縣令トシテ規定セルカ如キ右ノ趣旨ニ依リ

タルモノニ外ナラス府縣制第百條ノ規定ニ依ル所ノ使用料手数料ニ關スル規則ノ如キ過料ノ罰則ヲ付スル場合ニハ府縣令ノ形式ニ依ルヘキモノナリトス』次ニ府縣制ハ島嶼ニ關スル府縣ノ行政ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ヲ設クルコトヲ得ルヲ規定シ而シテ之ニ基キタル勅令ノ規定ニ依レハ島嶼ノ經濟ト所屬本地ノ經濟トハ府縣令ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ分別スルコトヲ得又東京府下伊豆七島及小笠原島ニ於テハ當分從前ノ例ニ依リ府稅ヲ賦課セス又府會議員ノ選舉ニ關セサルモノトス

(府縣制第二條第九十八條乃至第百二十五條、第百三十八條、明治三十二年六月勅令第二百二十八號、島嶼ニ關スル府縣行政ノ特別ニ關スル件、明治三十三年三月內務省令第七號、府縣制第百二十五條郡制第百三條ニ依ル費用流用額、財務ニ關スル件、明治十三年四月太政官布告第十六號、地方稅規則、明治十三年四月太政官布告第十七號、營業稅雜種稅規則、明治二十年十一月內務省令第三號、地方稅ノ支辨ニ係ル道路ノ竝木枯損木拂代金及寄附金ノ件、明治二十三年三月勅令第六十六號、府縣委託金ヲ地方稅經濟ニ移スノ件、明治二十一年八月閣令第十二號、貸坐

敷引手茶屋娼妓ノ賦金編入及支辨方明治二十一年七月內務省訓令第十七號地方稅又ハ區町村費ノ支辨ニ係ル堤塘使用料等取扱方明治三十二年六月勅令第二百七十六號府縣稅家屋稅ニ關スル件明治三十二年六月勅令第三百三十六號府縣費ノ分賦及不均一賦課ニ關スル件明治三十二年六月內務省令第二十九號府縣ニ於テ市町村ニ分賦シ得ヘキ費用ノ限度ノ件明治三十三年三月勅令第八十一號府縣稅徵收ニ關スル件明治三十年七月內務省令第二十二號府縣稅地方稅及市町村稅滯納處分屬託方明治二十一年八月勅令第六十一號府縣警察費ニ對シ國庫下渡金ノ割合明治三十年三月法律第三十六號傳染病豫防法明治二十九年四月法律第七十一號河川法明治三十二年四月勅令第六十號災害土木費國庫補助規定明治三十三年五月法律第六十三號市町村立小學校教育費國庫補助法明治二十七年六月法律第二十一號實業教育費國庫補助法明治三十二年十一月勅令第四百三十五號教育基金令明治三十二年六月法律第百二號府縣農事試驗場國庫補助法明治三十二年六月法律第百三號農令法明治三十二年三月法律第七十七號罹災救助基金法明治三十年三月法律第三十七號國庫ヨリ補助スル

團體ノ事業ニ關スル件參照

第五章 府縣ニ對スル監督

府縣ハ國家ノ事務ヲ自己ノ事務トシテ施行スルコトヲ目的トスルモノナリ故ニ府縣カ正當ニ其事務ヲ行フヤ否ハ國家自身ノ利益ニ關係スルコト少カラズ從テ國家ハ常ニ府縣ニ對シテ監督ヲ行フノ必要アリ監督ノ機關ハ內務大臣之ニ當ルモノトス但法カ特ニ規定セル場合ニ於テ大藏大臣行政裁判所府縣參事會カ監督機關トシテ行動スルコトアルハ別段ナリ其他府縣ノ監督ニ關シ府縣制ニ規定シタル內務大臣ノ職務及關係ハ教育ニ關スル事項ニ付テハ內務文部兩大臣ニ屬スルモノトス國家監督作用ヲ大別シテ府縣團體ニ對スルモノ及府縣ノ機關ニ對スルモノトス

一 府縣團體ニ對スル監督

府縣團體ニ對スル監督ハ一方ニ於テ府縣カ積極的ニ其事務ヲ行フコトニ由リ

ヲ法規ニ違ヒ若ハ公益ヲ害スルコトヲ制止スルト同時ニ一方ニ於テ府縣カ消極的ニ其事務ヲ行ハサルコトニ由リテ違法若ハ不當ニ陷ルヲ制止スルニ在リ前者ヲ積極的監督トイヒ後者ヲ消極的監督トイフ

積極的監督ノ一ハ府縣ノ行政中或種類ノモノニ付テハ監督廳ノ認可ヲ得テ後其效力ヲ生セシムルニ在リ即チ内務大臣ノ許可ヲ要スルモノトシテ前已ニ處處ニ掲ケタルモノノ外向ホ府縣ニ於テ一、學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲スコト二、使用料手數料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スルコト三、寄附若ハ補助ヲ爲スコト四、不動産ノ處分ニ關スルコト五、急迫ノ場合ヲ除ク外夫役及現品ヲ賦課スルコト六、繼續費ヲ定メ若ハ變更スルコト七、特別會計ヲ設クルコトハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要シ又府縣ニ於テ一、一年度内ノ一時借入金ヲ除ク外府縣債ヲ起シ並起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若ハ變更スルコト二、法律勅令中別段ノ規定アル場合ノ外地租三分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スルコト(非常特別稅法ノ規定ニ依レハ府縣ハ地租十分ノ五以內ノ附加稅ヲ課スルノ外地地ニ對シテ課稅スルコトヲ得ス又戰時

稅タル地租營業稅増徴額ニ對シテ附加稅ヲ課スルコトヲ得ス但明治三十六年度以前ニ起シタル負債ノ元金償還及利子支拂ノ爲メ若ハ非常ノ災害ニ因リ復舊工事ノ爲メ費用ヲ要シタル場合ニ於テ特ニ内務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ前述ノ制限ヲ超過シテ附加稅ヲ課スルコトヲ得水利ノ爲メ費用ヲ要スル場合ニ於テ特ニ内務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキモ亦同シ且前述ノ制限ハ特ニ賦課率ヲ定メタル特別法令ノ適用ヲ妨ケス而シテ罹災救助基金法ニハ府縣ハ罹災救助基金貯蓄ノ爲メ直接國稅ノ附加稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ他ノ法律ニ依ル制限ノ外百分ノ三以內ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得ルノ規定アリ三、法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ下渡ス歩合金ニ對シ支出金額ヲ定ムコトハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス本來右等ノ場合ニ於ケル許可ハ學者ノ所謂認可ノ性質ヲ有シ即チ或行爲ニ其儘法律上ノ效力ヲ與フルコトヲ目的トスルモノナルカ故ニ嚴格ニ論スレハ認可權ヲ有スル官廳ハ或行爲ヲ其儘認可スルカ若ハ全然認可セザルカノ二途ヲ有スルノミニシテ幾分カ之ヲ變更シテ認可ヲ與フルカ如キハ之ヲ爲シ得サルモノナリトイハサルヘカラス

然レトモ認可申請ノ趣旨ニ反セスト認メラルル範圍内ニ於テハ變更ヲ加ヘテ認可ヲ與フルコトカ實際ニ於テ便利ナルコトアリ然ルニ法ハ特ニ明文ヲ以テ之ヲ許セリ府縣制ハ又府縣ノ行政中主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ許可ヲ經スシテ處分スルヲ得ヘキコトヲ規定セリ而シテ之ニ基キタル勅令ノ規定ニ依レハ一其府縣ニ於テ從來徵收シタルモノト同種類ノ使用料手数料及其細則ニ關スル件二其府縣内ニ於ケル教育勸業衛生土木若ハ慈善ノ事業ニ對スル補助其他其府縣ニ於テ從來補助シタルモノト同種類ノ補助ニ關スル件三豫定價格五千圓未満ノ府縣有不動産處分ニ關スル件四其府縣ニ於テ從來賦課シタルモノト同種類ノ夫役現品ノ賦課ニ關スル件五支出總額十萬圓以内ノ府縣繼續費ニ關スル件六其府縣ニ於テ從來設ケタルモノト同種類ノ特別會計ニ關スル件七府縣債ノ元本總額五萬圓ニ達スル迄ノ起債入地租二分以下ノ附加税ノ賦課ニ關スル件九警察費國庫下渡金ニ對スル支出金額ノ件十傳染病豫防費國庫下渡金ニ對スル支出金額ノ件ニ關シテハ主務大臣ノ許可ヲ要セサルモノトス

積極的監督ノ二ハ市町村ノ合議體タル機關ノ議決カ違法若ハ不當ナリト認メラルル場合ニ他ノ機關ヲシテ其議決ヲ取消シ又之ニ付テ監督廳ノ指揮ヲ求めシムルニ在リ是レ府縣知事ト議決機關トノ關係ヲ述スルニ當リ已ニ説明シタルヲ以テ此處ニ詳述セス法ハ尙內務大臣ハ府縣ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルヲ得ルコトヲ規定セリ

積極的監督ノ三ハ人民ニ與フルニ異議訴訟又ハ行政訴訟ヲ提起スルノ權利ヲ以テシ之ニ依リテ府縣ニ反省ヲ爲サシメ又ハ府縣ノ行爲ヲ再審スルニ在リ異議訴訟又ハ行政訴訟ヲ許セル事項ニ付テハ前已ニ處處ニ之ヲ述ヘタリ故ニ此處ニ更ニ述ヘス唯異議ト訴訟トノ差異ニ付テハ一言スルノ要アリ行政廳ノ處分ノ取消若ハ變更ヲ求ムルカ爲ニ權利トシテ私人ニ與ヘラレタル救濟手段ナルノ點ニ於テハ異議ハ訴訟ト異ナル所ナシ然レトモ訴訟ハ一面私人ニ與ヘラレタル救濟手段ナルト同時ニ一面ニハ訴訟ノ原由トナレル處分ヲ爲シタル行政廳ニ對スル國家ノ監督手段ヲ意味スルモノナルニ反シ異議ハ唯處分ニ不服ナル者カ一意其處分ヲ爲シタル者ノ反省ヲ求ムルカ爲ニ其者ニ對シテ之ヲ申

立ツルモノニシテ毫モ國家監督權ノ作用ヲ求ムルノ意味ヲ有セス從テ異議ノ判決ハ其異議ノ原由トナレル處分ヲ爲シタル者ニ對スル監督作用トシテ其處分ヲ再審スルニ非スシテ處分ヲ爲シタル者自身ニ於テ最初ノ處分カ果シテ反省スヘキモノナルヤ否ヲ決スルニ在リ故ニ法ハ右ノ意味ヲ明ニスル爲ニ異議ノ裁決ハ之ヲ決定ト稱シ以テ訴訟ノ裁決ト區別セリ異議訴訟及行政訴訟ニ關スル原則規定トシテ府縣制ニ規定スル所ニ依レハ異議若ハ訴訟ハ別ニ期限ヲ定メタルモノヲ除ク外處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘタ行政訴訟ハ處分ヲ爲シ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ二十一日以内ニ之ヲ提起スルヲ要ス決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル者ニ關シテハ右ノ期間ハ告示ノ翌日ヨリ起算スルモノトス尙異議ノ決定ハ理由ヲ付シタル文書ヲ以テ之ヲ爲シ其文書ヲ申立人ニ交付スヘキモノトス異議ノ申立若ハ訴訟ノ提起ニ關スル期間ノ計算並天災事變ノ場合ニ於ケル特例ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス異議ノ申立又ハ訴訟及行政訴訟ヲ提起スル者アルモ之カ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セザ

ルヲ本則トス唯行政廳及行政裁判所ニ於テ其職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムル場合ニ限り處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得
 次ニ消極的監督ノ一ハ府縣ニ於テ其義務ニ屬スル支出ヲ爲ササルカ如キ若ハ公益ヲ害スルヲモ顧ミス或費目ノ支出ヲ拒ムカ如キ場合ニ於テ之ヲ強制スルニ在リ此コトハ前已ニ述ヘタル府縣知事ト議決機關トノ關係中ニ包含セラルルモノナルヲ以テ更ニ此處ニ述ヘス
 消極的監督ノ二ハ府縣ノ機關カ其職務ヲ盡ササルトキ又ハ機關ニ故障アル場合ニ他ノ者ヲシテ代テ其職務ヲ取ラシムルニ在リ即チ府縣會若ハ府縣參事會カ成立セサルトキ又ハ議決スヘキ事件ヲ議了セサルカ如キ場合ニ應スル方法ヲ謂フナリ此コトモ亦前已ニ述ヘタリ
 右ニ述ヘタルモノノ外内務大臣ハ府縣ノ行政ヲシテ法規ニ違ヒ公益ヲ害スルコトナカラシムル爲ニ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス尙内務大臣ハ府縣ニ對シ監督ヲ行ハントスル必要上府縣ヨリ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

如斯ク國家ハ府縣ニ對シテ監督權ヲ行使スレトモ國家ノ監督處分ニシテ違法ナルトキハ府縣自治體ノ權利ヲ侵害スルノ結果ヲ生スルヲ以テ之ニ對シテハ府縣ニ救濟ヲ與ヘサルヘカラス故ニ府縣會若ハ府縣參事會ノ議決若ハ選舉ヲ違法ナリトシテ府縣知事之ヲ取消シタル場合ニ於テ其取消處分ヲ違法トスル府縣會若ハ府縣參事會ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得是レ前已ニ述ヘタル所ナリ

一一 府縣ノ機關ニ對スル監督

內務大臣ハ勅裁ヲ經テ府縣會ノ解散ヲ命スルコトヲ得府縣會解散ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スルヲ要ス解散後始メテ府縣會ヲ召集スル場合ニ於テハ其府縣會ハ或ハ通常會タルコトアリ或ハ臨時會タルコトアリ何レニスルモ府縣知事ハ法カ一般ニ定ムル會期ニ拘ラス內務大臣ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得府縣吏員ノ服務規律ハ內務大臣之ヲ定ムルモノナルコトハ前已ニ述ヘタリ府縣官吏ノ監督ニ付テハ官吏トシテ一般官吏法上ノ監督

ニ從フモノニシテ府縣制中ニ於テ何等ノ規定ヲ要セス府縣制第二百二十七條乃至第三百三十六條明治三十二年六月勅令第三百十五號府縣郡行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要セサル事項明治三十七年三月法律第三號非常特別稅法罹災救助基金法參照)

府縣制 終

法學士 松浦 鎮次郎 講述

府 縣 制

法政大學發行

(特別法講義錄)

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters '府縣制' and '法政大學發行']

府縣制目次

緒言.....一

第一章 府縣ノ成立及廢合.....三

第二章 府縣ノ構成.....五

第三章 府縣ノ機關.....一

第一款 議決機關.....一

第一項 府縣會.....二

第二項 府縣參事會.....五四

第二款 行政機關.....六〇

第四章 府縣ノ行政.....七七

第五章 府縣ニ對スル監督.....一一

一 府縣團體ニ對スル監督.....一一

二 府縣ノ機關ニ對スル監督.....二一八

府縣制目次 終

其四 報酬給與ノ命令

茲ニ所謂報酬給與ノ命令トハ即チ本目ノ冒頭ニ掲ケタル民法第二十九條第二項ニ依リ裁判所カ管理人ニ報酬ヲ與フルコトヲ云フナリ
右民法ノ規定ニ依リ裁判所カ管理人ニ報酬ヲ與フル旨ノ裁判ヲ爲シタルトキハ則チ之ニ依リテ管理人ハ不在者ニ對シ管理ノ報酬ヲ請求スルノ權利ヲ取得スルナリ

報酬給與ノ裁判ニ付キテハ本法總則ニ規定セルモノノ外特殊ノ手續ナシ又其裁判カ告知ニ因リテ其效力ヲ生スルトキハ則チ之ニ依リテ直チニ管理人ハ不在者ニ對シ報酬請求ノ債權ヲ獲得スヘク而シテ其債權ハ民法及ヒ民事訴訟法ニ規定セル一般ノ手續ニ從ヒテ實行セララルヘキカ故ニ右裁判ノ執行ニ關スル手續トシテハ別ニ本法中ニ規定セラレタルモノナシ

第四項 財産ノ管理ニ付キ命シタル處分ノ取消

非訟事件手続法 各論 民事非訟事件 財産ノ管理ニ關スル事件

民法第二十五條第二項ニ據レハ不在者カ後日ニ至リ管理人ヲ欲キタルトキハ裁判所ハ其管理人利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ不在者ノ財産ノ管理ニ付キ爲シタル處分ノ命令ヲ取消スコトヲ要ストアリ又本法第五十九條ニ據レハ不在者カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタルトキ又ハ其死亡カ分明ト爲リ若クハ失踪ノ宣告アリタルトキハ裁判所ハ本人利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命シタル處分ヲ取消スヘシトアリ蓋シ右兩條ニ列舉セル不在者カ後日ニ至リ管理人ヲ置キタル場合不在者カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタル場合又ハ不在者ノ死亡カ分明ト爲リ若クハ失踪ノ宣告アリタル場合ハ何レモ不在者ノ財産管理ノ原因タル事由消滅ノ場合ナルカ故ニ本人管理人利害關係人又ハ檢事ノ請求アルニ於テハ裁判所ハ速ニ其カ不在者ノ財産ノ管理ニ付キ命シタル處分ヲ取消スコトヲ要スルヤ敢テ多辯ヲ俟タサル所ナレハナリ而シテ民法第二十五條第二項ニハ處分ノ命令ノ取消トアリ本法第五十九條ニハ處分ノ取消トアリ立言聊カ其體ヲ異ニスレトモ其趣旨ニ至リテハ全ク同一ニシテ畢竟不在者ノ財産ノ管理ニ付キ爲シタル處分ノ裁判ノ效力ノ

解除ヲ意味スルニ外ナラス

右ニ所謂不在者ノ財産ノ管理ニ付キ命シタル處分トハ單ニ民法第二十五條第一項ニ依リ爲シタル處分ノ裁判ノミヲ指稱セルモノニシテ敢テ同法第二十六條乃至第二十九條ニ依リ爲シタル裁判ヲ包含スルモノニ非サルナリ

處分ノ取消ハ單ニ將來ニ向ツテ其效力ヲ生スルニ止マリ敢テ既往ニ遡リテ其效力ヲ及ホスモノニ非ス此事タル前述ノ如ク處分ノ取消ヲ以テ財産管理ノ原因タル事由消滅ノ場合ニ於テ爲スヘキモノトセル本法ノ規定ニ徴シテ自ラ明白ナル所トス

前述ノ如ク處分ノ取消ハ單ニ將來ニ向ツテ其效力ヲ生スルニ止マルモノナルカ故ニ處分ノ取消ハ其取消ノ裁判ヲ爲ス時ニ於テ尙ホ效力ノ存續スル處分ニ付キテノミ之ヲ爲スヘク取消ノ裁判ヲ爲ス時既ニ效力ヲ喪失セル處分其喪失ノ原因如何ハ之ヲ問ハスニ付キテハ之ヲ爲スヘキ限ニ在ラス例ヘハ管理人ノ選任ナル處分ヲ爲シタル場合ニ於テ其管理人カ尙ホ在セルトキハ即チ該處分ノ效力尙ホ存續セルモノナルニ因リ其選任取消ノ裁判ヲ爲スコトヲ要スル

モ其管理人カ現時既ニ死亡シ又ハ解任セラレ居レルトキハ該處分ノ效力ハ既ニ消滅セルモノナルニ因リ其選任取消ノ裁判ヲ爲スヘキ限ニ在ラス又不在者ノ財産ノ封印ナル處分ヲ爲シタル場合ニ於テ其封印カ尙ホ存在セルトキハ即チ該處分ノ效力尙ホ存續セルモノナルニ因リ其封印取消ノ裁判即チ封印除去ノ裁判ヲ爲スコトヲ要スルモ其封印カ現時既ニ除去セラレ居レルトキハ該處分ノ效力ハ既ニ消滅セルモノナルニ因リ其封印取消ノ裁判ヲ爲スヘキ限ニ在ラサルカ如シ

處分ノ取消ニ付キテモ亦處分ノ取消ノ裁判ニ關スル手續ト其裁判ノ執行ニ關スル手續トヲ區別スルコトヲ得以下之ヲ分説スヘシ

第一目 處分ノ取消ノ裁判ニ關スル手續

不在者ノ財産ノ管理ニ付キ裁判所カ命スル所ノ處分ハ實ニ多種多樣ニシテ一定セザルコト前既ニ説明シタル所ノ如シ然レトモ其處分ノ取消ノ裁判ニ關シテハ本法ハ僅ニ封印處分ノ取消即チ封印ノ除去ノ裁判ニ付キ特殊ノ手續ヲ規定シタルニ過キス(其手續ハ既ニ之ヲ説明シタリ)シテ其他ノ處分ノ取消ノ裁判ニ付キテハ別ニ特殊ノ手續ヲ規定セス從ツテ處分ノ取消ノ裁判ニ關シテハ茲ニ特ニ説明スヘキ手續ナシ

第二目 處分ノ取消ノ裁判ノ執行ニ關スル手續

不在者ノ財産ノ管理ニ付キ命シタル處分ノ取消ノ裁判ノ執行ニ關スル手續ニ付キテハ前既ニ説明シタル封印處分ノ取消即チ封印除去ノ裁判ノ執行ニ關スル手續ノ外本法ニ於テハ何等規定スル所ナシ從ツテ其手續ヲ如何ニスヘキカハ一ニ法理ニ據リテ之ヲ解決セザルヘカラス仍テ按スルニ處分ノ取消ハ處分ノ效力ヲ將來ニ向ツテ解除スルヲ以テ其目的トスルモノナレハ處分ノ取消ノ裁判ノ執行トシテハ處分ノ效力ヲ將來ニ向ツテ消滅セシムル處分ヲ爲ササル以前ノ狀態ニ復セシムルヲ以テ必要且ツ十分ナリトス而シテ處分ノ效力ヲ將來ニ向ツテ消滅セシムルカ爲メニハ單ニ處分ノ取消ノ裁判ヲ告知シテ其效力ヲ

生セシムルヲ以テ是ルモノト告知以外別ニ裁判執行ノ手續ヲ要スルモノトノ
二種アリ例ヘハ管理人ノ選任取消ノ裁判ノ如キ之ヲ告知スルノミニテ直チニ
管理人ノ選任ノ裁判ノ效力トシテ生シタル管理人ノ資格ヲ消滅セシムルカ故
ニ其他別ニ執行ノ手續ヲ要セザレトモ不在者ノ財産ノ賣却取消ノ裁判ノ如キ
單ニ之ヲ告知スルノミニテハ未タ其執行ヲ終リタルモノト爲スヲ得ス必スヤ
別ニ競賣機關ニ對シテ就賣申立ノ取下ノ手續ヲ盡ササルヘカラサルカ如シ

第五項 抗告

抗告トハ裁判所ノ管轄ニ屬スル非訟事件ニ關シ下級裁判所ノ裁判ノ誤謬ヲ匡
正スル爲メ本法ニ於テ認メラレタル唯一ノ覆審方法ナルコト並ニ抗告ニハ通
常抗告ト即時抗告トノ二種アルコトハ既ニ總則編ニ於テ横田講師ノ説述セラ
レタル所ナルカ今茲ニハ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キ本法ニ於テ
認メラレタル抗告ニ付キ説明セントス而シテ其抗告ニモ亦通常抗告ト即時抗
告トノ二種アリ左ニ之ヲ分説スヘシ

第二目 通常抗告

不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キ特ニ認メラレタル通常抗告ハ左ノ如
シ
利害關係人ハ不在者ノ財産ノ管理若クハ保存ニ付キ處分ヲ命シ其處分ヲ取
消シ又ハ管理人ニ其權限ヲ超ユル行爲ヲ爲スコトヲ許可シタル裁判ニ對シ
テ抗告ヲ爲スコトヲ得(本法第六〇條第一項)

非訟事件ニ關シテハ何人タルヲ問ハス苟モ裁判ニ因リテ權利ヲ害セラレ
タル者ハ之ニ對シテ通常抗告ヲ爲シ得ルコトハ本法第二十條第一項ノ規
定スル所ナリ然ルニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ在リテハ假令裁
判ニ因リテ權利ヲ害セラレザルマテモ利益ヲ害セララル利害關係人ハ決
シテ稀ナリトセス此等ノ者ハ同條ノ規定ニ依リテハ到底之ヲ保護スルニ
由ナキカ故ニ此等ノ者ニ對シテハ別ニ救済方法ヲ認ムルノ必要アリ例ヘ
ハ裁判所カ民法第二十五條第一項又ハ同法第二十七條第三項ニ依リ不在

者ノ財産ノ賣却ヲ命スル裁判ヲ爲シタルトシ而シテ其時期カ物價暴落等ノ爲メ財産ノ換價ニ付キ極メテ不利益ナル時期ナリトセンニ單ニ此等ノ事實ノミニテハ未タ以テ利害關係人ノ權利ヲ害シタルモノト論スルコトヲ得ス從ツテ此場合ニ於テハ何人ト雖モ本法第二十條第一項ニ依リ抗告ヲ爲スニ由ナシト雖モ而カモ斯カル裁判ハ利害關係人ノ利益ヲ害スルコト決シテ少小ナリトセサルカ故ニ之ニ對シテ救済方法ヲ認ムルノ要アリ又不在者ノ生存カ分明ナルニ拘ラス裁判所カ誤ツテ不在者ヲ置キタル管理人ニ對シ財産目録ノ調製ヲ命シタルトセンニ其處分ノ不當ナルコト勿論ナルモ不在者ノ相續人ノ如キハ未タ之ニ依リテ其權利ヲ害セラレタリト謂フコト能ハス從ツテ本法第二十條第一項ニ依リテハ抗告ヲ爲スニ由ナシト雖モ而カモ之カ爲メニ相續財産ヲ減少シ不利益ヲ蒙ルコトナシトセサルカ故ニ之ニ對シテモ亦救済方法ヲ認ムルノ要アルカ如シ是レ此規定アル所以ナリ

茲ニ所謂不在者ノ財産ノ管理ニ付キ處分ヲ命シタル裁判トハ民法第二十

五條第一項ニ基ツキテ爲シタル裁判ノミヲ云ヒ同不在者ノ財産ノ保存ニ付キ處分ヲ命シタル裁判トハ同法第二十七條第二項及ヒ第三項ニ基ツキ爲シタル裁判ヲ云フ

民法第二十九條第一項及ヒ本法第四十四條ニ依ル擔保供出ニ關スル命令及ヒ民法第二十九條第二項ニ依ル報酬給與ノ命令ハ何レモ本法第六十條第一項ニ列舉セル裁判ニ該當セサルカ故ニ此等ノ命令ニ對シテハ總則第二十條ニ依ルノ外抗告ヲ爲スコトヲ得ス

茲ニ列舉セル裁判ト雖モ各本條ニ於テ特ニ不服ノ申立ヲ許ササル旨規定セルモノニ在リテハ之ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得サルハ論ヲ俟タス例ハハ財産ノ狀況ノ報告及ヒ管理ノ計算ノ命令本法第四一條第三項參照封印ノ除去ニ對スル異議ノ裁判第五二條第三項參照公證人ヲシテ財産目録ヲ調製セシムヘキ旨ノ命令第五六條第二項參照ノ如キ是レナリ

第二目 即時抗告

不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キ特ニ認メラレタル即時抗告ハ左ノ如

不在者カ置キタル管理人ハ其改任ヲ命シタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲ス

コトヲ得抗告ノ期間ハ管理人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス本

法第六〇條第二項

不在者ノ置キタル管理人ハ其不在者ノ生死分明ナラザル場合ニ於テ利害

關係人又ハ檢事ノ請求アルトキハ裁判所之ヲ改任シ得ヘキコトハ本款第

三項第二目ニ説明シタル所ノ如シ然レトモ此改任ハ不在者及ヒ利害關係

人ノ利益保護ノ爲メ止ムヲ得スシテ爲ス所ノ處分ナレハ之カ實行ニ付キ

テハ宜シク慎重ヲ旨トシ必要ナキニ安ニ之ヲ實行スルカ如キコトナカラ

シムルヲ要ス是レ裁判所ノ選任シタル管理人ニハ其改任ニ對シテ不服ヲ

申立ツルコトヲ許ササルニ拘ラス(本款第三項第一目其一參照)不在者ノ置

キタル管理人ニハ其改任ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ許シタル所以ナリ而

シテ其抗告ヲ即時抗告ト爲シタルハ改任ノ裁判ハ速ニ之ヲ確定セシメサ

ルニ於テハ徒ラニ事件ノ進行ヲ阻害シ財産ノ散佚ヲ來タスノ虞アルカ爲

メナリ

改任ノ裁判ハ新舊兩管理人ニ告知スヘキモノナルニ因リ即時抗告期間ノ

計算ニ關シ疑義ヲ生スルノ虞ナキニ非ス是レ右後段ノ規定アル所以ナリ

而シテ右後段ニ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス(トアルハ告知ノ日ヲ期

間ニ算入セシムルノ趣意ナリ

第六項 手續ノ費用ノ負擔者

不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ノ手續ノ費用ノ負擔者ニ付キ總則ノ規定以

外本法第二編第二章ニ於テ特ニ設ケラレタル規定左ノ如シ

(一) 裁判所カ職權ヲ以テ裁判ヲ爲シ又ハ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合

ニ於テハ裁判前ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用並ニ其裁判ニ依リ命シタル

處分ニ付キ必要ナル費用ハ不在者ノ財産ノ負擔トス(本法第六一條)

裁判所カ職權ヲ以テ裁判ヲ爲シ又ハ申請ニ因リ之ニ相當スル裁判ヲ爲

シタル場合ニ於テハ其裁判ハ法律上事實上ハ兎モ角不在者ノ財産ノ管理廣義ニ付キ必要ナルモノト開ハサルヘカテタルカ故ニ之ニ關聯セル一切ノ費用即チ其裁判前ノ手續ノ費用裁判ノ告知ノ費用並ニ裁判ノ執行ニ必要ナル費用ハ總ヘテ之ヲ不在者ノ財産ノ負擔ニ歸セシムルヲ當然トス是レ此規定アル所以ナリ

茲ニ所謂裁判前ノ手續ノ費用トハ申請書作成ノ費用之ニ貼用セル印紙代ヲ初メトシ審問事實ノ探知證據調ノ費用等ヲ云ヒ裁判ノ告知ノ費用トハ裁判ヲ送達ニ依リテ告知シタル場合ニ於ケル送達手数料ノ如キヲ云ヒ其裁判ニ依リ命シタル處分ニ付キ必要ナル費用トハ要スルニ裁判前ノ執行ニ必要ナル費用ノ事ニシテ例ヘハ財産目録ノ調製ヲ命シタル場合ニ於ケル目録調製ノ費用封印ヲ命シタル場合ニ於ケル封印實施ノ費用ノ如キ是レナリ

(二) 裁判所カ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ不在者ノ財産ノ負擔ト

ス(本法第六二條)

抗告裁判所カ原裁判ヲ廢棄シ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ法律上事實上ハ兎モ角抗告人ノ抗告ハ理由アリ原裁判ハ不當ナリシモノト爲ササルヘカラサルカ故ニ此場合ニ於ケル抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ之ヲ抗告人ニ負擔セシムヘキ限ニ在ラス從ツテ之ヲ不在者ノ財産ノ負擔トスルノ外ナシ是レ此規定アル所以ナリ

茲ニ所謂前審トハ單ニ直接ノ前審ノミナラス間接ノ前審ヲモ包含ス例ヘハ抗告人カ第一審トシテ區裁判所ニ申立ヲ爲シ之ヲ却下セラレ地方裁判所ニ抗告ヲ爲シ再ヒ之ヲ棄却セラレ更ニ控訴院ニ再抗告ヲ爲シタル末控訴院ニ於テ抗告ヲ理由アリトシ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ第一審ノ費用モ亦不在者ノ財産ノ負擔タルヘキカ如シ

第二款 親權者ニ管理權ナキ子ノ財産ノ管理

ニ關スル事件

第一項 事件ノ意義及ヒ其分類

親權者ニ管理權ナキ子ノ財産ノ管理ニ關スル事件トハ民法第八百九十二條第二項乃至第四項ニ依リ裁判所ノ管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱スルモノニシテ今之ヲ其性質ニ從ヒテ分類スルトキハ(一)管理者ノ選任(二)管理者ノ監督ノ二種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ同條第二項及ヒ第三項ノ管理者ノ選任ハ第一種ニ屬シ同條第四項ノ管理者ニ對スル財産目錄ノ調製其他財産ノ保存ニ必要ナル處分ノ命令管理者ノ權限外ノ行爲ノ許可管理者ニ對スル擔保供出ノ命令及ヒ報酬給與ノ命令ハ第二種ニ屬ス

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ子ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄トス但第三者カ數人ノ子ニ財産ヲ與ヘタル場合ニ於テ其住所カ異ナルトキハ年少ノ子ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄トス(本法第六三條第一項第二項)

本事件ハ何レモ子ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ヲシテ之ヲ管轄セシムルヲ以テ最モ便宜トスヘキコトハ智者ヲ俟テテ後知ルヘキニ非ス是レ此規定アル所以ナリ

茲ニ所謂第三者カ數人ノ子ニ財産ヲ與ヘタル場合トハ即チ第三者カ同一ノ親權者ニ屬スル數人ノ子ニ共同ニ財産ヲ與ヘ其財産カ此等ノ子ノ共有ニ屬スル場合ヲ指稱セルモノニシテ此場合ニ於テ若シ此等ノ子ノ住所カ異ナルトキハ何レノ子ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ヲシテ之ヲ管轄セシムヘキカヲ決スルノ必要アルコトナルカ之ニ付キテハ最年少ノ子ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬セシムルヲ至當トス何トナレハ財産ノ管理ハ最年少ノ子ニ付キ最モ長ク繼續スヘキモノナレハナリ

第三項 事件ノ手續

本事件ノ手續ハ總ヘテ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ノ手續即チ余カ本節
 第一款第三項ニ説明シタルモノニ準スヘキモノトス本法第六八條
 本事件ニ付キテモ其手續ハ之ヲ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ト異ニス
 ヘキ理由ナクレハナリ
 管理者ノ權限及ヒ管理者ト子トノ權利關係ノ如キハ之ヲ手續ト謂フコト能
 ハサルヤ勿論ナリト雖モ亦不在者ノ財産ノ管理人ノ權限及ヒ不在者ノ財産
 ノ管理人ト不在者トノ權利關係ニ準スヘキモノトス(本法第六八條)
 本法第六八條ニ所謂準用トハ事件ノ性質ノ差異ニ應シ適當ノ變更ヲ加ヘ
 テ適用ストノ義ニシテ例ヘハ本節第一款第三項ニハ親族ノ手續干與ヲ認メ
 ナレトモ本事件ノ手續ニ於テハ其干與ヲ許スヘキカ如シ何トナレハ同項ニ
 干親族ノ干與ヲ認メサルハ民法第二十五條乃至第二十七條ニ之ヲ認メサルニ
 本因ルモノナルニ同法第八百九十二條第二項乃至第四項ニハ親族ノ干與權ヲ

認ムレハナリ

第四項 管理ニ付キ命シタル處分ノ取消

本法第六十八條及ヒ第五十九條ニ依レハ本人カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ
 得ルニ至リタルトキ又ハ其死亡カ分明ト爲リ若クハ失踪ノ宣告アリタルトキ
 ハ裁判所ハ本人利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命シタル處分ヲ取消スヘ
 シトアリ蓋シ同條ニ列舉セル場合ハ何レモ子ノ財産管理ノ原因タル事由消滅
 ノ場合ナルカ故ニ本人利害關係人又ハ檢事ノ請求アルニ於テハ裁判所ハ速ニ
 其カ子ノ財産ノ管理ニ付キ命シタル處分ヲ取消スコトヲ要スルヤ敢テ多辯ヲ
 俟タサル所ナレハナリ

右ニ所謂本人カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタルトキトハ即チ本
 人カ成年ニ達シタルトキヲ云ヘルモノ又所謂命シタル處分トハ單ニ民法第八
 百九十二條第二項及ヒ第三項ニ依ル處分ノミヲ指稱セルモノニシテ敢テ同條
 第四項ニ依ル處分ヲ包含スルモノニ非サルナリ

非訟事件手続法 各論 民事非訟事件 財産ノ管理ニ關スル事件

第三者カ數人ノ子ニ共同ニ財産ヲ與ヘタル場合ニ於テモ管理者ハ一人ノミヲ選任スヘキモノナルコトハ前項本法第六十三條第二項ノ規定ニ徴シテ之ヲ推知スルニ難カラス然ラハ此場合ニ於テ其一人ノ子カ成年ニ達シ又ハ死亡シ若クハ失踪ノ宣告ヲ受ケタルトキハ右管理者ノ選任ハ之ヲ取消スヘキモノナルヤ否ヤ右第六十三條第二項ノ規定ヲ一見スルトキハ其選任ハ之ヲ其儘放任スヘキカ如クナルモ成年者死亡者又ハ失踪者ニ管理者ヲ附スヘキ理由存セザルカ故ニ斯カル場合ニ在リテハ其子ニ關スル部分ニ限り其選任ヲ取消スヘキモノト爲ササルヲ得ス

處分ノ取消ハ單ニ將來ニ向ツテ其效力ヲ生スルニ止マリ敢テ既往ニ遡リテ其效力ヲ及ホスモノニ非ス此事タル前通ノ如ク處分ノ取消ヲ以テ財産管理ノ原因タル事由消滅ノ場合ニ於テ爲スヘキモノトセル本法ノ規定ニ徴シテ自ラ明白ナル所トス

前通ノ如ク處分ノ取消ハ單ニ將來ニ向ツテ其效力ヲ生スルニ止マルモノナルカ故ニ處分ノ取消ハ其取消ノ裁判ヲ爲ス時ニ於テ尙ホ效力ノ存續スル處分ニ

付キテノミ之ヲ爲スヘク取消ノ裁判ヲ爲ス時既ニ效力ヲ喪失セル處分其喪失ノ原因如何ハ之ヲ問ハスニ付キテハ之ヲ爲スヘキ限ニ在ラス故ニ裁判所ノ選任シタル管理者カ尙ホ在任セルトキハ即チ其選任ナル處分ノ效力尙ホ存續セルモノナルニ因リ其選任取消ノ裁判ヲ爲スコトヲ要スルモ其管理者カ現時既ニ死亡シ又ハ解任セラレ居レルトキハ該處分ノ效力ハ既ニ消滅セルモノナルニ因リ其選任取消ノ裁判ヲ爲スヘキ限ニ在ラサルナリ

處分ノ取消ニ付キテモ亦處分ノ取消ノ裁判ニ關スル手續ト其裁判ノ執行ニ關スル手續トヲ區別スルコトヲ得ルコトナルカ其手續ハ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キ前項第四項ニ於テ述ヘタル手續ト異ナル所ナキヲ以テ重キテ之ヲ説明セス

第五項 抗告

抗告ニ關シテモ本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコトナク單ニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六十條ノ規定ヲ準用セ

ルニ過キサル(本法第六八條)故ニ余モ亦前款第五項ノ説明ヲ引用スルニ止メ重キテ説明セサルヘシ

第六項 手續ノ費用ノ負擔者

手續ノ費用ノ負擔者ニ關シテモ亦本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコトナク單ニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六一條及ヒ第六十二條ノ規定ヲ準用セルニ過キサル(本法第六八條)故ニ余モ亦前款第六項ノ説明ヲ引用スルニ止メ重キテ之ヲ説明セサルヘシ

第三款 後見人ニ管理權ナキ被後見人ノ財産

ノ管理ニ關スル事件

第一項 事件ノ意義及ヒ其分類

後見人ニ管理權ナキ被後見人ノ財産ノ管理ニ關スル事件トハ本法第六十四條ニ所謂第三者カ被後見人ニ與ヘタル財産ノ管理ニ關スル事件ノ事ニシテ即チ

民法第九百三十六條及ヒ第八百九十二條第二項乃至第四項ニ依リ裁判所ノ管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱スルモノナリ今之ヲ其性質ニ從ヒテ分類スルトキハ(一)管理者ノ選任(二)管理者ノ監督ノ二種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ民法第九百三十六條第八百九十二條第二項及ヒ第三項ノ管理者ノ選任ハ第一種ニ屬シ同法第九百三十六條第八百九十二條第四項ノ管理者ニ對スル財産目録ノ調製其他財産ノ保存ニ必要ナル處分ノ命令管理者ノ權限外ノ行爲ノ許可管理者ニ對スル擔保供出ノ命令及ヒ報酬給與ノ命令ハ第二種ニ屬ス

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ被後見人ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄トス本法第六四條

本事件ハ何レモ被後見人ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ヲシテ之ヲ管轄セシムルヲ以テ最モ便宜トスヘキコトハ智者ヲ俟テテ後知ルヘキニ非ス是レ此規定アル所以ナリ

第三項 事件ノ手續

本事件ノ手續ハ總ヘテ不在者ノ財産ハ管理ニ關スル事件ノ手續即チ余カ本節第一款第三項ニ説明シタルモノニ準スヘキモノトス本法第六八條)

本事件ニ付キテモ其手續ハ之ヲ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ト異ニスヘキ理由ナケレハナリ

管理者ノ權限及ヒ管理者ト被管理者トノ權利關係ノ如キハ之ヲ手續ト謂フコト能ハサルヤ勿論ナリト雖モ亦不在者ノ財産ノ管理人ノ權限及ヒ不在者ノ財産ノ管理人ト不在者トノ權利關係ニ準スヘキモノトス本法第六八條)

本法第六八條ニ所謂準用トハ事件ノ性質ノ差異ニ應シ適當ノ變更ヲ加ヘテ適用ストノ義ニシテ例ヘハ本節第一款第三項ニハ親族ノ手續干與ヲ認メサレトモ本事件ノ手續ニ於テハ其干與スヘキカ如シ何トナレハ同項ニ親族ノ干與ヲ認メサレハ民法第二十五條乃至第二十七條ニ之ヲ認メサルニ因ルモノナルニ同法第九百三十六條第八百九十二條第二項乃至第四項ニハ親族

ノ干與權ヲ認ムレハナリ

第四項 管理ニ付キ命シタル處分ノ取消

本法第六十八條及ヒ第五十九條ニ依レハ本人カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタルトキ又ハ其死亡カ分明ト爲リ若クハ失踪ノ宣告アリタルトキハ裁判所ハ本人利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命シタル處分ヲ取消スヘシトアリ蓋シ同條ニ列舉セル場合ハ何レモ被後見人ノ財産管理ノ原因タル事由消滅ノ場合ナルカ故ニ本人利害關係人又ハ檢事ノ請求アルニ於テハ裁判所ハ速ニ其カ被後見人ノ財産ノ管理ニ付キ命シタル處分ヲ取消スコトヲ要スルヤ敢テ多辯ヲ俟タサル所ナレハナリ

右ニ所謂本人カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタルトキトハ即チ本人カ成年ニ達シタルトキト云ヘルモノ又所謂命シタル處分トハ單ニ民法第九百三十六條第八百九十二條第二項及ヒ第三項ニ依ル處分ノミヲ指稱セルモノニシテ敢テ同法第九百三十七條第八百九十二條第四項ニ依ル處分ヲ包含スル

モノニ非ナルナリ
 處分ノ取消ハ單ニ將來ニ向ツテ其效力ヲ生スルニ止マリ敢テ既往ニ遡リテ其效力ヲ及ホスモノニ非ナルコト從ツテ處分ノ取消ハ其取消ノ裁判ヲ爲ス時ニ於テ尙ホ效力ノ存續スル處分ニ付キテノミ之ヲ爲スヘク取消ノ裁判ヲ爲ス時既ニ效力ヲ喪失セル處分ニ付キテハ之ヲ爲スヘキ限ニ在ラサルコトハ子ノ財産ノ管理ニ關シ前款ニ述ヘタル所ニ異ナルコトナシ
 處分ノ取消ニ付キテモ亦處分ノ取消ノ裁判ニ關スル手續ト其裁判ノ執行ニ關スル手續トヲ區別スルコトヲ得ルコトナルカ其手續ハ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キ第一款第四項ニ述ヘタル手續ト異ナル所ナキヲ以テ重ネテ之ヲ説明セス

第五項 抗告

抗告ニ關シテモ本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコトナク單ニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六十條ノ規定ヲ準用セ

ルニ過キサル本法第六八條力故ニ余モ亦第一款第五項ノ説明ヲ引用スルニ止メ重テテ之ヲ説明セサルヘシ

第六項 手續ノ費用ノ負擔者

手續ノ費用ノ負擔者ニ關シテモ亦本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコトナク單ニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六十一條及七第六十二條ノ規定ヲ準用セシニ過キサル本法第六八條力故ニ余モ亦第一款第六項ノ説明ヲ引用スルニ止メ重テテ之ヲ説明セサルヘシ

第四款 相續ノ承認拋棄期間内及ヒ相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ後ニ於ケル相續財產ノ保存ニ關スル事件

第一項 事件ノ意義及ヒ其分類

相續ノ承認拋棄期間内及ヒ相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ後ニ於ケル相續財產ノ

保存ニ關スル事件トハ本法第六十五條ニ所謂民法第一千二百一十一條第二項第三項ノ相續財産ノ保存ニ關スル事件ノ事ニシテ即チ民法第一千二百一十一條第二項第三項第一千二百八條第二項及ヒ第一千四百條第二項ニ依リ裁判所ノ管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱スルモノナリ今之ヲ其性質ニ從ヒテ分類スルトキハ(一)管理人ノ選任其他財産ノ保存ニ必要ナル處分ノ命令(二)管理人ノ監督ノ二種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ民法第一千二百一十一條第二項第一千二百八條第二項及ヒ第一千四百條第二項ノ管理人ノ選任其他財産ノ保存ニ必要ナル處分ノ命令ハ第一種ニ屬シ同法第一千二百一十一條第三項第一千二百八條第二項及ヒ第一千四百條第二項ノ管理人ニ對スル財産目録ノ調製其他財産ノ保存ニ必要ナル處分ノ命令管理人ノ權限外ノ行爲ノ許可管理人ニ對スル擔保供出ノ命令及ヒ報酬給與ノ命令ハ第二種ニ屬ス

本法第六十五條ニハ單ニ民法第一千二百一十一條第二項第三項ノ相續財産ノ保存ニ關スル事件トアリテ民法第一千二百八條第二項及ヒ第一千四百條第二項ノ文詞ナキカ故ニ文字上ヨリ嚴格ニ解釋スルトキハ民法第一千二百八條第二項及

ヒ第一千四百條第二項ノ相續財産ノ保存ニ關スル事件ハ同條中ニ包含セラレサルモノト謂フヘキカ如シト雖モ右民法ノ兩項ニハ各民法第一千二百一十一條第二項第三項ノ規定ヲ準用ストメ文詞アレハ文字上ヨリ言フモ右兩項ニ規定セル事件ハ強テ同條ニ所謂民法第一千二百一十一條第二項第三項ノ相續財産ノ保存ニ關スル事件ナル文詞中ニ包含セシメ難キニ非サルメミナラス若シ之ヲ包含セザルモノト解センカ右兩項ニ規定セル事件ニ關シテハ竟ニ其管轄裁判所及ヒ其手續ノ規定ヲ缺クニ至ルヘキカ故ニ余ハ前陳ノ如ク同條ニ所謂民法第一千二百一十一條第二項第三項ノ相續財産ノ保存ニ關スル事件中ニハ同法第一千二百八條第二項及ヒ第一千四百條第二項ノ相續財産ノ保存ニ關スル事件ヲモ包含セルモノト解釋スルヲ妥當ト信スルナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄トス(本法第六十五條)
相續開始地ハ即チ被相續人ノ住所地ニシテ民法第九六五條第九九三條相續

財産ノ大部分モ其内ニ存在スルヲ普通トスレハ其保存ニ關スル本事件ハ何
レモ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ヲシテ之ヲ管轄セシムルノ最モ便宜ナ
ルコトハ喋喋ヲ要セスシテ明ナルヘシ是レ此規定アル所以ナリ

第三項 事件ノ手續

本事件ノ手續ハ總ヘテ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ノ手續即チ余カ本節
第一款第三項ニ説明シタルモノニ準スヘキモノトス(本法第六八條)

本事件ニ付キテモ其手續ハ之ヲ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ト異ニス
ヘキ理由ナケレハナリ
管理人ノ權限並ニ管理人及ヒ保管者ト相續人トノ權利關係ノ如キハ之ヲ手
續ト謂フコト能ハサルヤ勿論ナリト雖モ亦不在者ノ財産ノ管理人ノ權限並
ニ不在者ノ財産ノ管理人及ヒ保管者ト不在者トノ權利關係ニ準スヘキモノ
トス(本法第六八條)

第四項 保存ニ付キ命シタル處分ノ取消

本法第六十八條及ヒ第五十九條ニ依レハ本人カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ
得ルニ至リタルトキ又ハ其死亡カ分明ト爲リ若クハ失踪ノ宣告アリタルトキ
ハ裁判所ハ本人利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命シタル處分ヲ取消スヘ
シトアリ蓋シ同條ニ列舉セル場合ハ何レモ相續財産保存ノ原因タル事由消滅
ノ場合ナルカ故ニ本人利害關係人又ハ檢事ノ請求アルニ於テハ裁判所ハ速ニ
其カ相續財産ノ保存ニ付キ命シタル處分ヲ取消スコトヲ要スルヤ敢テ多辯ヲ
俟タサル所ナレハナリ
右ニ所謂本人カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタルトキトハ例ヘハ
當初民法第一千二百一十一條第二項ニ依リ相續財産ノ保存ニ必要ナル處分ヲ命シ
テタル場合ニ於テ相續人カ相續ノ承認又ハ拋棄ヲ爲シタルトキノ如キ又ハ當
初民法第一千二百八條第二項ニ依リ相續財産ノ保存ニ必要ナル處分ヲ命シアリ
タル場合ニ於テ限定承認者カ一切ノ相續債權者及ヒ受遺者ニ對スル辨濟ヲ了

シタルトキノ如キ又ハ當初民法第千四十條第二項ニ依リ相續財産ノ保存ニ必要ナル處分ヲ命シテアリタル場合ニ於テ新相續人カ相續財産ノ管理ヲ始ムルコトヲ得ルニ至リタルトキノ如キヲ云ヘルモノ又所謂命シタル處分トハ單ニ民法第千二十一條第二項第千二十八條第二項又ハ第千四十條第二項ニ依リ裁判所カ直接ニ命シタル管理人ノ選任其他財産ノ保存ニ必要ナル處分ノミヲ指稱セルモノニシテ敢テ同法第千二十一條第三項第千二十八條第二項又ハ第千四十條第二項ニ依リ裁判所カ管理人監督ノ爲メ之ニ對シテ發シタル財産目録ノ調製其他ノ處分ノ命令權限外ノ行爲ノ許可擔保供出ノ命令報酬給與ノ命令ヲ包含スルモノニ非サルナリ

處分ノ取消ハ單ニ將來ニ向ツテ其效力ヲ生スルニ止マリ敢テ既往ニ遡リテ其效力ヲ及ホスモノニ非サルコト從ツテ處分ノ取消ハ其取消ノ裁判ヲ爲ス時ニ於テ尙ホ效力ノ存續スル處分ニ付キテノミ之ヲ爲スヘク取消ノ裁判ヲ爲ス時既に效力ヲ喪失セル處分ニ付キテハ之ヲ爲スヘキ限ニ在ラサルコトハ子ノ財産ノ管理ニ關シ第二款ニ述ヘタル所ニ異ナルコトナシ

處分ノ取消ニ付キテモ亦處分ノ取消ノ裁判ニ關スル手續ト其裁判ノ執行ニ關スル手續トヲ區別スルコトヲ得ルコトナルカ其手續ハ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテ第一款第四項ニ述ヘタル手續ト異ナル所ナキヲ以テ重キテ之ヲ説明セシ

第五項 抗告

抗告ニ關シテモ本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコトナク單ニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六十條ノ規定ヲ準用セルニ過キナル(本法第六八條)カ故ニ余モ亦第一款第五項ノ説明ヲ引用スルニ止メ重キテ之ヲ説明セタルヘシ

第六項 手續ノ費用ノ負擔者

手續ノ費用ノ負擔者ニ關シテモ亦本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコトナク單ニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六十

一條及ヒ第六十二條ノ規定ヲ準用セルニ過キサル本法第六八條力故ニ余モ亦第一款第六項ノ説明ヲ引用スルニ止メ重キテ之ヲ説明セザルヘシ

第五款 相續人不分明ノ場合ニ於ケル相續財産ノ管理ニ關スル事件

第一項 事件ノ意義及ヒ分類

相續人不分明ノ場合ニ於ケル相續財産ノ管理ニ關スル事件トハ本法第六十五條ニ所謂民法第五十二條ノ相續財産ノ管理ニ關スル事件ノ事ニシテ即チ民法第五十二條及ヒ第五十三條ニ依リ裁判所ノ管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱スルモノナリ今之ヲ其性質ニ從ヒテ分類スルトキハ(一)管理人ノ選任(二)管理人ノ監督ノ二種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ民法第五十二條ノ管理人ノ選任ハ第一種ニ屬シ同第五十三條ノ管理人ニ對スル財産目錄ノ調製其他財産ノ保存ニ必要ナル處分ノ命令管理人ノ權限外ノ行爲ノ許可管理人ニ對スル擔保供出ノ命令及ヒ報酬給與ノ命令ハ第二種ニ屬ス

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ相續開始地ヲ管轄スル區裁判ノ管轄トス本法第六五條此立法上ノ理由ハ相續ノ承認拋棄期間内及ヒ相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ後ニ於ケル相續財産ノ保存ニ關スル事件ニ付キ前款ニ述ヘタル所ト同一ナルヲ以テ重キテ之ヲ贊セス

第三項 事件ノ手續

本事件ノ手續ハ如シ
(一)本事件ノ手續ハ總ヘテ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ノ手續即チ余カ本節第一款第三項ニ説明シタルモノニ準スヘキモノトス本法第六八條
本事件ニ付キテモ其手續ハ之ヲ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ト異ニスヘキ理由ナクレハナリ
管理人ノ權限並ニ管理人及ヒ保管者ト法人タル相續財産トノ權利關係

ノ如キハ之ヲ手續ト謂フコト能ハサルヤ勿論ナリト雖モ亦不在者ノ財産ノ管理人ノ權限並ニ管理人及ヒ保管者ト不在者トノ權利關係ニ準スヘキモノトス(本法第六八條)

(二) 裁判所ハ遲滯ナク管理人ノ選任ヲ公告スルコトヲ要ス(民法第一〇五二條第二項)但其公告ニハ(イ)申立人ノ氏名住所(ロ)被相續人ノ氏名身分職業及ヒ最後ノ住所(ハ)被相續人ノ出生及ヒ死亡ノ場所並ニ其年月日(ニ)管理人ノ氏名住所ヲ記載スヘク(本法第六九條)又其公告ハ裁判所ノ揭示板ニ揭示シ及ヒ官報又ハ公報ニ掲載シテ之ヲ爲シ其他民事訴訟法第五百十七條第三項ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ(本法第七一條)民事訴訟法第七六六條)

裁判所ヲシテ此公告ヲ爲サシムルハ相續人其他利害關係人ニ管理人ノ選任ヲ知ラシメシカ爲メナリ

(三) 右公告アリタル後二箇月内ニ相續人アルコト分明ナルニ至ラサルトキハ管理人ハ遲滯ナク一切ノ相續債權者及ヒ受遺者ニ對シ一定ノ期間内ニ其

請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要シ其公告ニ定メタル期間満了ノ後仍ホ相續人アルコト分明ナラサルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ相續人アラハ一定ノ期間内ニ其權利ヲ主張スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス(民法第一〇五八條)但其公告ニハ(イ)申立人ノ氏名住所(ロ)被相續人ノ氏名身分職業及ヒ最後ノ住所(ハ)被相續人ノ出生及ヒ死亡ノ場所並ニ其年月日(ニ)相續人ハ一定ノ期間内ニ其權利ヲ主張スヘキ旨ノ催告ヲ記載スヘク(本法第七〇條)又其公告ハ裁判所ノ揭示板ニ揭示シ及ヒ官報又ハ公報ニ掲載シテ之ヲ爲シ其他民事訴訟法第五百十七條第三項ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ(本法第七一條)民事訴訟法第七六六條)

裁判所ヲシテ此公告ヲ爲サシムルハ相續人ニ警告センカ爲メナリ
公告ニ記載スヘキ事項中不明ノモノアラハ其旨ヲ記載スヘシ

第四項 管理ニ付キ命シタル處分ノ取消

相續人アルコト分明ナラサル相續財産ノ管理ニ付キ裁判所ノ命スル處分ハ管

理人ノ選任ノ處分ノ外アルコトナシ而シテ該處分ハ或ハ相續人アルコト分明トナリ其相續人カ相續ノ承認ヲ爲スカ或ハ法定期間内ニ相續人タル權利ヲ主張スル者ナクシテ相續財産カ國庫ニ歸屬スル等最早相續財産ノ管理ヲ必要トセサルニ至リタルトキ之ヲ取消スヘキコトハ事理ノ當然ニシテ敢テ多辯ヲ要セザル所ナルヘシ(本法第六八條第五九條但相續人アルコト分明トナリ其相續人カ相續ノ承認ヲ爲シタル場合ニ付キテハ民法第五十六條第一項ノ規定アルカ故ニ裁判所ハ特更管理人ノ選任ヲ取消スノ要ナキモノノ如シ)又右ニ所謂管理ニ付キ裁判所ノ命シタル處分トハ單ニ民法第五十二條ニ依ル處分ノミヲ指稱セルモノニシテ同法第五十三條ニ依ル管理人ニ對スル命令ヲ包含セザルナリ

處分ノ取消ハ單ニ將來ニ向ツテ其效力ヲ生スルニ止マリ敢テ既往ニ遡リテ其效力ヲ及ホスモノニ非ザルコト從ツテ處分ノ取消ハ其取消ノ裁判ヲ爲ス時ニ於テ尙ホ效力ノ存續スル處分ニ付キテノミ之ヲ爲スヘク取消ノ裁判ヲ爲ス時既ニ效力ヲ喪失セル處分ニ付キテハ之ヲ爲スヘキ限ニ在ラザルコトハ子ノ財

産ノ管理ニ關シ第二款ニ述ヘタル所ニ異ナルコトナシ管理ニ必要ナル處分ノ取消ニ付キテモ亦處分ノ取消ノ裁判ニ關スル手續ト其裁判ノ執行ニ關スル手續トヲ區別スルコトヲ得ルコトナルカ其手續ハ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キ第一款第四項ニ述ヘタル手續ト異ナル所ナキヲ以テ重手ヲ之ヲ説明セス

第五項 抗告

抗告ニ關シテモ本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコトナク單ニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六十條ノ規定ヲ單用セルニ過キサル(本法第六八條)故ニ余モ亦第一款第五項ノ説明ヲ引用スルニ止メ重手ヲ之ヲ説明セザルヘシ

第六項 手續ノ費用ノ負擔者

手續ノ費用ノ負擔者ニ關シテモ亦本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコト

トナク單ニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六十一條及ヒ第六十二條ノ規定ヲ準用スルニ過キタル本法第六八條カ故ニ余モ亦第一款第六項ノ說明ヲ引用スルニ止メ重キテ之ヲ說明セザルヘシ

第六款 相續人ノ廢除又ハ廢除取消ノ裁判確定

前ニ於ケル遺産ノ管理ニ關スル事件

第一項 事件ノ意義及ヒ其分類

相續人ノ廢除又ハ廢除取消ノ裁判確定前ニ於ケル遺産ノ管理ニ關スル事件トハ本法第六十六條ニ所謂「民法第九百七十八條ノ遺産ノ管理ニ關スル事件」ノ事ニシテ即チ民法第九百七十八條第一項第二項及ヒ第一千條ニ依リ遺産ノ管理ノ主權ノ行使ヲ除クニ關シ裁判所ノ管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱スルモノナリ今之ヲ其性質ニ從ヒテ分類スルトキハ(一)管理人ノ選任其他財産ノ管理ニ必要ナル處分ノ命令(二)管理人ノ監督ノ二種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ民法第九百七十八條第一項及ヒ第一千條ノ管理人ノ選任其他財産ノ管理ニ必要ナル處分ノ

命令ハ第一種ニ屬シ同法第九百七十八條第二項及ヒ第一千條ノ管理人ニ對スル財産目錄ノ調製其他財産ノ保存ニ必要ナル處分ノ命令管理人ノ權限外ノ行為ノ許可管理人ニ對スル擔保供出ノ命令及ヒ報酬給與ノ命令ハ第二種ニ屬ス本法第六十六條ニハ單ニ民法第九百七十八條ノ遺産ノ管理ニ屬スル事件トアリテ民法第一千條ノ文詞ナシト雖モ余カ本節第四款第一項ニ於テ述ヘタルト類似ノ理由ニ因リ余ハ同條ニ所謂民法第九百七十八條ノ遺産ノ管理ニ屬スル事件中ニハ同法第一千條ノ遺産ノ管理ニ關スル事件ヲモ包含スルモノト解釋スルヲ妥當ト信スルナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ相續人ノ廢除又ハ其取消ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄トス(本法第六六條) 本事件ヲ相續人ノ廢除又ハ其取消ノ請求ニ付キテノ第一審受訴裁判所ノ管轄ニ屬セシメタルハ該裁判所ハ最も善ク事件ノ顛末ヲ了知シ若クハ了知シ

得ハキ便宜ヲ有シ便宜ニ適スル處分ヲ施スニ便利ナル地位ニ在ルカ爲メナ
右ニ所謂第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所トハ右請求ノ訴ニ付キ既ニ確定
判決アリタルト否トヲ問ハス又其訴カ現時第一審ニ繫屬セルト將タ控訴審
若クハ上告審ニ繫屬セルトヲ論セス第一審トシテ其訴ヲ受ケタル裁判所ヲ
云フ但假令一旦第一審裁判所トシテ其訴ヲ受ケタル裁判所ト雖モ管轄違等
ノ理由ニ因リ確定判決ヲ以テ本案ニ付キ審理權ナキモノト確定セラレタル
裁判所ハ之ヲ包含セサルコト勿論トス

第三項 事件ノ手續

本事件ノ手續ハ總ヘテ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ノ手續即チ余カ本節
第一款第三項ニ説明シタルモノニ準スヘキモノトス(本法第六八條)
本事件ニ付キテモ其手續ハ之ヲ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ト異ニス
ヘキ理由ナクレハナリ

管理人ノ權限並ニ管理人及ヒ保管者ト相續人其他遺産ヲ承繼スヘキ者トノ
權利關係ノ如キハ之ヲ手續ト謂フコト能ハサルヤ勿論ナリト雖モ亦不在者
ノ財産ノ管理人ノ權限並ニ不在者ノ財産ノ管理人及ヒ保管者ト不在者トノ
權利關係ニ準スヘキモノトス(本法第六八條)

本法第六十八條ニ所謂「準用」トハ事件ノ性質ノ差異ニ應シ適當ノ變更ヲ加ヘ
テ適用ストノ義ニシテ例ヘハ本節第一款第三項ニハ親族ノ手續干與ヲ認メ
サレトモ本事件ノ手續ニ於テハ其干與ヲ許スヘキカ如シ何トナレハ同項ニ
親族ノ干與ヲ認メサルハ民法第二十五條乃至第二十七條ニ之ヲ認メサルニ
因ルモノナルニ同法第九百七十八條第一項第二項及ヒ第一千條ニ依レハ親族
ニモ干與權ヲ認ムレハナリ

第四項 管理ニ付キ命シタル處分ノ取消

相續人ノ廢除又ハ廢除取消ノ裁判確定前ニ於ケル遺産ノ管理ニ付キ裁判所ノ
命シタル處分ハ其裁判確定スルニ至リタルトキ之ヲ取消スヘキコトハ事理ノ

當然ニシテ取テ多辯ヲ要セサル所ナルヘシ本法第六八條第五九條
右ニ所謂管理ニ付キ裁判所ノ命シタル處分トハ單ニ民法第九百七十八條第一
項又ハ第一千條ニ依リ裁判所カ直接ニ命シタル管理人ノ選任其他遺産ノ管理ニ
付キ必要ナル處分ノミヲ指稱セルモノニシテ取テ同法第九百七十八條第二項
又ハ第一千條ニ依リ裁判所カ管理人監督ノ爲メ之ニ對シテ發シタル財産目録ノ
調製其他ノ處分ノ命令權限外ノ行爲ノ許可擔保供出ノ命令報酬給與ノ命令ヲ
包含スルモノニ非サルナリ

處分ノ取消ハ單ニ將來ニ向ツテ其效力ヲ生スルニ止マリ取テ既往ニ遡リテ其
效力ヲ及ホスモノニ非サルコト從ツテ處分ノ取消ハ其取消ノ裁判ヲ爲ス時ニ
於テ尙ホ效力ノ存續スル處分ニ付キテノミ之ヲ爲スヘク取消ノ裁判ヲ爲ス時
既ニ效力ヲ喪失セル處分ニ付キテハ之ヲ爲スヘキ限ニ在ラサルコトハ子ノ財
産ノ管理ニ付キ第二款ニ述ヘタル所ニ異ナルコトナシ
處分ノ取消ニ付キテモ亦處分ノ取消ノ裁判ニ關スル手續ト其裁判ノ執行ニ關
スル手續トヲ區別スルコトヲ得ルコトナルカ其手續ハ不在者ノ財産ノ管理ニ

關スル事件ニ付キ第一款第四項ニ述ヘタル手續ト異ナル所ナキヲ以テ重キテ
之ヲ説明セス

第五項 抗告

抗告ニ關シテモ本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコトナク單ニ不在者
ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六十條ノ規定ヲ準用セ
ルニ過キササル(本法第六八條)故ニ余モ亦第一款第五項ノ説明ヲ引用スルニ止
メ重キテ之ヲ説明セサルヘシ

第六項 手續ノ費用ノ負擔者

手續ノ費用ノ負擔者ニ關シテモ亦本法ハ本事件ニ付キ特別ノ規定ヲ設クルコ
トナク單ニ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キテノ規定タル本法第六十
一條及ヒ第六十二條ノ規定ヲ準用セルニ過キササル(本法第六八條)故ニ余モ亦
第一款第六項ノ説明ヲ引用スルニ止メ重キテ之ヲ説明セサルヘシ

第七款 財産分離ノ請求アリタル場合ニ於ケル相續財産ノ管理ニ關スル事件

第一項 事件ノ意義及ヒ其分類

財産分離ノ請求アリタル場合ニ於ケル相續財産ノ管理ニ關スル事件トハ本法第六十七條ニ所謂民法第四十三條ノ相續財産ノ管理ニ關スル事件ノ事ニシテ即チ民法第四十三條及ヒ第五十條第二項ニ依リ相續財産ノ管理ニ關シ裁判所ノ管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱スルモノナリ今之ヲ其性質ニ從ヒテ分類スルトキハ(一)管理人ノ選任其他財産ノ管理ニ必要ナル處分ノ命令(二)管理人ノ監督ノ二種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ民法第四十三條第一項及ヒ第五十條第二項ノ管理人ノ選任其他財産ノ管理ニ必要ナル處分ノ命令ハ第一種ニ屬シ同法第四十三條第二項及ヒ第五十條第二項ノ管理人ニ對スル財産目錄ノ調製其他財産ノ保存ニ必要ナル處分ノ命令管理人ノ權限外ノ行爲ノ許可管理人ニ對スル擔保供出ノ命令及ヒ報酬給與ノ命令ハ第二種ニ屬ス

本法第六十七條ニハ單ニ民法第四十三條ノ相續財産ノ管理ニ關スル事件トアリテ民法第五十條第二項ノ文詞ナシト雖モ余カ本節第四款第一項ニ於テ述ヘタルト類似ノ理由ニ因リ余ハ同條ニ所謂民法第四十三條ノ相續財産ノ管理ニ關スル事件中ニハ同法第五十條第二項ノ相續財産ノ管理ニ關スル事件ヲモ包含スルモノト解釋スルヲ妥當ト信スルナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ財産分離ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄トス(本法第六七條)

本事件ヲ財産分離ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄ニ屬セシメタルハ該裁判所ハ最モ善ク事件ノ顛末ヲ了知シ若クハ了知シ得ヘキ便宜ヲ有シ機宜ニ適スル處分ヲ施スニ便利ナル地位ニ在ルカ爲メナリ右ニ所謂第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所アル文詞ノ意義ハ前款第二項ニ於テ述ヘタル本法第六十六條ニ於ケル同一文詞ノ意義ト異ナル所ナシ

第三項 事件ノ手續

本事件ノ手續ハ總ヘテ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ノ手續即チ余カ本節第一款第三項ニ説明シタルモノニ準スヘキモノトス(本法第六八條)

本事件ニ付キテモ其手續ハ之ヲ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ト異ニス
管キ理由ナケレハナリ

ヘ理人ノ權限竝ニ管理人及ヒ保管者ト相續人トノ權利關係ノ如キハ之ヲ手續ト謂フコト能ハサルヤ勿論ナリト雖モ亦不在者ノ財産ノ管理人ノ權限竝ニ不在者ノ財産ノ管理人及ヒ保管者ト不在者トノ權利關係ニ準スヘキモノトス(本法第六八條)

本法第六八條ニ所謂「準用」トハ事件ノ性質ノ差異ニ應シ適當ノ變更ヲ加ヘテ適用ストノ義ニシテ例ヘハ本節第一款第三項ニハ檢事ノ手續干與ヲ認ムレトモ本事件ノ手續ニ於テハ其干與ヲ認ムヘカラサルカ如シ何トナレハ同項ニ檢事ノ干與ヲ認メタルハ民法第二十五條乃至第二十七條ニ之ヲ認メタ

ルニ因ルモノナルニ同法第四十三條又ハ第八十五條第二項ニハ檢事ノ干與權ヲ認メサレハナリ

第四項 管理ニ付キ命シタル處分ノ取消

財産分離ノ請求アリタル場合ニ於ケル相續財産ノ管理ニ付キ裁判所ノ命シタル處分ハ或ハ相續人カ民法第四十七條第二項ニ依リ相續債權者及ヒ受遺者ニ辨辨ヲ爲シ或ハ同法第四十九條ニ依リ其固有財産ヲ以テ此等ノ者ニ辨辨ヲ爲シ又ハ之ニ相當ノ擔保ヲ供シテ財産分離ノ請求ヲ防止シ又ハ其效力ヲ消滅セシメ或ハ第八十五條第二項及ヒ第三十一條第三十二條第一項ニ依リ其債權者ニ辨辨ヲ爲ス等最早相續財産ノ管理ヲ必要トセザルニ至リタルトキ之ヲ取消スヘキコトハ事理ノ當然ニシテ敢テ多辯ヲ要セザル所ナルヘシ(本法第六八條第五九條)

右ニ所謂管理ニ付キ裁判所ノ命シタル處分トハ單ニ民法第四十三條第一項又ハ第八十五條第二項ニ依リ裁判所カ直接ニ命シタル管理人ノ選任其他財産

ノ管理ニ必要ナル處分ノミヲ指稱セルモノニシテ敢テ同法第四十三條第二項又ハ第五十條第二項ニ依リ裁判所カ管理人監督ノ爲メ之ニ對シテ發シタル財産目錄ノ調製其他ノ處分ノ命令權限外ノ行爲ノ許可擔保供出ノ命令報酬給與ノ命令ヲ包含スルモノニ非サルナリ

處分ノ取消ハ單ニ將來ニ向ツテ其效力ヲ生スルニ止マリ敢テ既往ニ遡リテ其效力ヲ及ホスモノニ非サルコト從ツテ處分ノ取消ハ其取消ノ裁判ヲ爲ス時ニ於テ尙ホ效力ノ存續スル處分ニ付キテノミ之ヲ爲スヘク取消ノ裁判ヲ爲ス時既ニ效力ヲ喪失セル處分ニ付キテハ之ヲ爲スヘキ限ニ在ラサルコトハ余ノ財産ノ管理ニ關シ第二款ニ述ヘタル所ニ異ナルコトナシ

處分ノ取消ニ付キテモ亦處分ノ取消ノ裁判ニ關スル手續ト其裁判ノ執行ニ關スル手續トヲ區別スルコトヲ得ルヨトナルカ其手續ハ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キ第一款第四項ニ述ヘタル手續ト異ナル所ナキヲ以テ重テ之ヲ説明セス

報 報

○登記濟通知書ノ保管 登記官吏カ登記濟通知書ヲ市町村役場ニ送付シタルトキハ之ヲ受領又ハ保存ノ責任者ハ市町村長其人ナルカ將タ又土地臺帳ニ關スル事項ヲ擔任セル者アルトキハ其吏員ノ職責ニ屬スヘキカ大審院ノ判決ニ曰ク(登記官吏カ登記法第十一條ノ規定ニ從ヒ登記濟通知書ヲ土地臺帳所管廳タル町村役場ニ送付スルハ要スルニ其役場ノ土地臺帳ニ登錄シタル土地ニ付キ權利ノ得喪變更ニ關スル登記手續ノ完了シタルコトヲ知ラシムルヲ以テ目的トスルモノナレハ土地臺帳ニ關スル役場ノ事務ヲ擔任スル者ハ登記濟通知書ノ受領並ニ其保存ニ付キテモ亦タ責任アルモノト謂ハサルヘカラスト(大審院明治三十八年(比)第一三八八號官公文書局遺囑遺行使)及發賣事件明治三十八年十二月八日第二刑部事務部宣告)

○設立ノ許可ヲ取消サレタル講會員ノ權利 我邦各地ニ於ケル講會ナルモノハ余輩ノ信スル所ニ據レハ各其約款ニ依リテ其會員間ノ權利義務ヲ異ニシ必スシモ一律ニ論スルコトヲ得サルヘキモノナルニ大審院ハ許立ノ許可ヲ取

消サレタル講會員ノ法律關係ニ付キ其約款ノ如何ヲ顧ミスレテ已ニ成立ヲ取
消サレタル講會ノ會員ハ最早何等ノ權利ナキカ如ク判決セラレタルハ彼ノ會
社ノ解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ノ分配權等ノ法理ニ照シ甚々權衡ヲ得サル
カ如キ感ナキヲ得ス其判決理由ニ曰ク「一口ニ付一回當籤スルカ又ハ落札スル
トキハ雙方ノ權義ハ消滅スルモノト說示セシハ掛込金其モノノ權義ニ關スル
モノナルコトハ右ノ說示ニ接續シタル前段ニ於テ每會一圓ヲ講元タル被控訴
人被告上告人ニ支拂フコトヲ條件トシテ抽籤ヲ爲シ當籤ノ上ハ八十圓乃至七十
圓ヲ被控訴人ヨリ受取ルヘク第六會以後ハ前同一ノ條件ニテ抽籤スルト同時
ニ已ニ支拂フタル金額ニ對スル月二歩ノ利息ヲ附シタル金額ヲ最高限トシ拂
戻ヲ受クヘキ額ヲ適意入札シ以テ已ニ支拂フタル金額ノ拂戻ヲ受クヘクト說
示スル所ニ依テ明カナリ而シテ其權義ノ消滅スル者ハ當籤者落札者ノミニシ
テ其以外ノ者ハ其後ノ講會ニ於テ抽籤又ハ入札ノ權利アルヘキハ當然ナリト
雖モ其權利タル講會ノ存續中營講セサルカ如キ場合ニ在テ其開催ヲ促スコト
ヲ得ヘキハ固ヨリナレトモ其存續スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ在テハ

此權利ノミ存續スヘキ謂レアルヘカラス即チ講會ト其消長ヲ共ニスヘキモ
タルコト疑ナシト大審院明治三十八年(即第四百二十二號)眞相(眞相)講(眞相)判(眞相)決(眞相)
○日韓協約 客歲十一月締結セル日韓協約ニ依リ韓國ハ明カニ我被保護國
ト爲レルハ世界外交史上ノ一大現象タルヲ以テ其條約全文ヲ掲載スヘシ
日本國政府及韓國政府ハ兩帝國ヲ結合スル利害共通ノ主義ヲ鞏固ナラシメ
ムコトヲ欲シ韓國富強ノ實ヲ認ムル時ニ至ル迄此ノ目的ヲ以テ左ノ條款ヲ

約定セリ

第一條 日本政府ハ在東京外務省ニ由リ今後韓國ノ外國ニ對スル關係及事
務ヲ監理指揮スヘク日本國ノ外交代表者及領事ハ外國ニ於ケル韓國ノ臣
民及利益ヲ保護スヘシ

第二條 日本國政府ハ韓國ト他國トノ間ニ現存スル條約ノ實行ヲ全フスル
ノ任ニ當リ韓國政府ハ今後日本國政府ノ仲介ニ由ラスシテ國際的性質ヲ
有スル何等ノ條約若ハ約束ヲナササルコトヲ約ス

第三條 日本國政府ハ其ノ代表者トシテ韓國皇帝陛下ノ閣下ニ二名ノ統監

(レジデント、ゼチラル)ヲ置ク統監ハ専ラ外交ニ關スル事項ヲ管理スル爲京
 城ニ駐在シ親シク韓國皇帝陛下ニ内謁スルノ權利ヲ有ス日本國政府ハ又
 韓國ノ各開港場及其ノ他日本國政府ノ必要ト認ムル地ニ理事官(レジデ
 ント)ヲ置クノ權利ヲ有ス理事官ハ統監ノ指揮ノ下ニ從來在韓國日本領事ニ
 屬シタル一切ノ職權ヲ執行シ並本協約ノ條款ヲ完全ニ實行スル爲必要ト
 スヘキ一切ノ事務ヲ掌理スヘシ

第四條 日本國ト韓國トノ間ニ現存スル條約及約束ハ本協約ノ條款ニ牴觸
 セサル限總テ其ノ效力ヲ繼續スルモノトス

第五條 日本國政府ハ韓國皇室ノ安寧ト尊嚴ヲ維持スルコトヲ保證ス
 右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ相當ノ委任ヲ受ケ本協約ニ記名調印ス
 ルモノナリ

明治三十八年十一月十七日
 光武九年十一月十七日

特命全權公使 林 權 助
 外務大臣 朴 齊 純

非訟事件手續法正誤

頁	行	誤	正
一〇一	一一	規定	指定
一〇四	六	成アルトキハノハハ行	コトハ
一一七	三	人物	人物
一二〇	四	人物	人物
一二五	一〇	人物	人物
一二八	一四	人物	人物
一三〇	一四	人物	人物
一三二	二	人物	人物
一三三	一〇	人物	人物
一三九	二	人物	人物
一四一	四	人物	人物
一四六	二	人物	人物
一四八	二	人物	人物
一五二	三	人物	人物
一五七	五	人物	人物
同	一三	人物	人物
一六四	一	人物	人物
一六五	一	人物	人物
一七〇	二	人物	人物

一七一	一七二
一八〇	一八一
一八五	一八六
一五七	一五八
一五六	一五七
一五五	一五六
一五四	一五五
一五三	一五四
一五二	一五三
一五一	一五二
一五〇	一五一
一四九	一五〇
一四八	一四九
一四七	一四八
一四六	一四七
一四五	一四六
一四四	一四五
一四三	一四四
一四二	一四三
一四一	一四二
一四〇	一四一
一三九	一四〇
一三八	一三九
一三七	一三八
一三六	一三七
一三五	一三六
一三四	一三五
一三三	一三四
一三二	一三三
一三一	一三二
一三〇	一三一
一二九	一二〇
一二八	一二九
一二七	一二八
一二六	一二七
一二五	一二六
一二四	一二五
一二三	一二四
一二二	一二三
一二一	一二二
一二〇	一二一
一一九	一二〇
一一八	一一九
一一七	一一八
一一六	一一七
一一五	一一六
一一四	一一五
一一三	一一四
一一二	一一三
一一一	一一二
一一〇	一一一
一〇九	一一〇
一〇八	一〇九
一〇七	一〇八
一〇六	一〇七
一〇五	一〇六
一〇四	一〇五
一〇三	一〇四
一〇二	一〇三
一〇一	一〇二

音通
 從
 告知
 特ノ下
 裁列所
 手續トシテ
 添附スヘキ
 消滅ノ下
 コト勿論
 以外ノ事實
 ノ三十九字



（明治三十八年九月二十七日第三種郵便物認可）
（毎月二回十二月二十九日發行）

明治三十九年一月十五日印刷
明治三十九年一月十八日發行
（定價金貳拾五錢）

編輯者 萩原敬之
東京市牛込區牛込北町十番地

印刷者 小宮山信好
東京市牛込區牛込矢來町三番地

印刷所 金子活版所
東京市芝區西ノ久保明舟町十一番地

發行所 東京市總町區富士見町六丁目十六番地

司法省 法政大學
（電話番町百七十四番）